

H23年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	笠原中央公民館		図書館笠原分館	笠原体育館
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団			
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)			
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。	
報告書類等の提出状況		良好		
運営・利用状況	利用状況	良好		
	市事業の実施	期待以上	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好		
	備品管理	良好		
	その他管理	良好		
収支状況(円)	総収入	117,176,685		
	内利用料金収入	8,157,480		
	内指定管理料	99,974,000		
	支出	115,697,625		
	収支	1,479,060		
市民利用者の声の反映		良好		
全体的評価	良好			
	○中央公民館 ・視聴覚室の設備を充実させたことで利用の幅が広がり、利用料は前年比138.2%となった。 ・全体の利用料では前年比78.7%となり、減少の大きな要因は11月からのホール利用が減ったことが考えられるが、今年度の利用料収入の額は、第1期指定管理期間のほぼ平均値であった。 ・笠原地区の地域性を十分活かした事業を実施することができた。 ○図書館分館 ・定期的に企画展に取り組み、「いつも新しいことが発見できる」図書館を目指すことができた。 ・中央公民館や体育施設と図書館職員と連携し、図書館から施設の取り組みを発信するようにしている。 ・子育て支援センターにおいて、図書館笠原分館で開催している「おはなしの会」をボランティアと連携して実施し、定期的なおはなしの会を開催することができた。 ○体育館 ・利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズ事業展開を心掛けるとともに、苦情にも真摯に対応している。 ・安全性、機能性の観点から設備等の修繕を迅速な対応ができた。 ・事業展開を見直して新しいプログラムを提供することによりトレーニング室の利用者を増加させた。			
利用人数・前年度比増減率	延べ42,511人 (前年度比2.1%増)	延べ12,409人 (前年度比9.7%増)	延べ71,717人 (前年度比2.6%増)	
増減の理由	会議室の定期利用者が増加したため。	とくになし	とくになし	